



の み が わ

2018年6月26日発行 (通算第92号)

連絡先 〒145-0061 大田区石川町1-26-8

発行 呑川の会 代表 高橋光夫

呑川の会 e-mail: mitsuo.takahashi@nifty.com

呑川の会 HP <http://home.m00.itscom.net/nomigawa/>

高橋会員 HP <http://homepage2.nifty.com/aoiyume/>



(呑川の会 総会報告) - 2018年4月14日 -

— 新会員を迎えて、さらに楽しい活動を充実させましょう —

高橋 光夫 記

1) 世話人に「小熊さん」が加わって、15名体制で活動を分担し充実させます。

「呑川の会」の活動は、近年ますます活発になり、それぞれの担当負担も増えています。世話人のメンバーも増やして、みんなで分担する体制を強化しました。

(世話人) 安岡・寄立・橋本・古海・工藤・首藤・菊池・内村・
南・菱沼・白石・福井・木下・小熊・高橋光

2) 一部、従来の役割を変更し、分担が決まりました。

(代表) 高橋光 (副代表) 福井・白石 (事務局長・対外折衝) 南
(会計・名簿管理) 内村 (会計監査) 南
(会報編集) 白石・福井・菱沼・工藤・安岡・菊池・内村・橋本
青木 (1年に4~5回発行。ほぼ2年に1回の分担)
(HP担当・宛名印刷) 工藤
(「新版・呑川は流れる」編集委員) 工藤・福井・首藤・白石・高橋光・菱沼
(「新版・呑川は流れる」編集・まとめ役・助成金担当) 工藤



3) 「定例会」の開催日が変更になりました。(偶数月の開催は8月から「第3土曜日」に)

「呑川の会」創立以来、偶数月(2月・4月・6月・・・)は第2土曜日に開催してきましたが、小学校の都合で「第3土曜日」開催(蒲田小学校「会議室」13:30~)に変更になりました。奇数月(1月・3月・5月・・・)は変わらず、「ふれあいはずぬま」(13:30~)で開催します。また、「定例会」の議事終了後、出来るだけ「ミニ学習」の時間を取るように努めます。

4) 「都市河川ウォーク」や「呑川講座」など、大きな行事の日程と担当が決まりました。

「秋の都市河川ウォーク」は世田谷区「入間川」、12/1(土)実施の予定です(担当:内村)。
「春の都市河川ウォーク」は川崎市「二ヶ領用水」、来年3/30(土)の予定です(担当:白石)。
「連続5回・呑川講座」は「池上図書館」で実施し、10/27から毎週土曜開催の予定です(担当:白石・福井)。

「小学校・呑川学習」や池上地域で行う「呑川鯉のぼり大会」は、人手を要するので、新しい方を含め協力をいただく事になりました。

5) 新入会員3名を迎えました（清 百枝さん・村尾 充洋さん・柿田 和俊さん）

4月・5月と新会員を迎えることが出来ました。それに伴い、中流域以外のウォーク、上流・下流地域も含めて、年に1回程度は実施することになりました。新しい方にとっても楽しい活動になるよう努めましょう。

① 呑川緑道散策路、サイン整備が完成

— 水と緑をつなぎ、地域の魅力を伝える案内誘導 —

橋本 文興 記

大型・中型サイン	誘導サイン	小型サイン
	 <p>橋ごとに、右岸左岸交互にフェンスに設置されている</p>	 <p>橋と橋の間、フェンスに取り付け、生き物の紹介がされている</p>

大田区では区民の健康増進や余暇活動、そして日常移動ルートなど利用できるサイン整備に取り組んでいましたが、この4月一部を除きほぼ完成しました。区内はもとより区外から来られる方々にも解り易いサインで写真も多く、周辺を散策したくなる内容説明もされています。

サインの概要は、大型・中型サイン（周辺地図・施設の紹介等）11カ所、誘導サイン（橋の名前、付近地図主要施設への距離表示、海拔表示）66カ所、小型サイン（生き物の紹介等）8カ所が整備されました。これにより水と緑のネットワークの充実が図れ、地域の歴史と観光の案内、また自然環境の認識を改め、呑川の魅力を高めるサインとなりました。計画から完成まで長期にわたり検討された関係者に感謝します。なお呑川の会では資料を提供いたしました。

* 大型・中型サインの概要、（公園広場・植栽帯・道路）

設置場所		周辺地図・歴史・施設の紹介	生き物の紹介
工大橋	左岸	目黒区みどりの散歩道	キセキレイ
石川公園	右岸	耕地と灌漑用水	ユスリカ・オナガモ・キセキレイ

石川橋	左岸	洗足池、多摩川の排水口（中原幹線取水施設）	アオサギ・コサギ
久が原二丁目広場	右岸	池上梅園、池上本門寺五重塔	ニホンウナギ・カワセミ
池上小学校	左岸	梅園	
堤方橋	左岸	本門寺	
西蒲田 太平橋 児童公園	右岸	水質浄化、中土手事件、スカム発生抑制装置、芹沢銈介碑	
蒲田駅東口JRガード	右岸	呑川と桜	ボラ
菖蒲橋	左岸	蒲田の菖蒲園、ゴミフェンス	ユリカモメ・キンクロハジロ
夫婦橋親水公園	右岸	旧呑川の流れ、夫婦橋、清流復活事業	オオバン
大森一丁目公園	左岸	荷揚場、海苔	ホシハジロ・アオサギ
*養源寺（既存）	左岸	呑川流域図	カルガモ・ハクセキレイ他
*蒲田小学校（既存）	左岸	呑川で見られる生きもの	ボラ・コイ・マルタ・マハゼ他

* 小型サインの概要（呑川沿いフェンスに取り付け）

設置場所		生き物紹介ほか	設置場所		生き物紹介
島本橋～柳橋	右岸	コガモ（冬の渡り鳥）・ハクセキレイ	仲之橋～根方橋	左岸	カワセミ・ゴイサギ
本村橋～道々橋	右岸	湧水孔プール スッポンとカメ	長栄橋～北の橋	右岸	ギンヤンマ・コイ
道々橋～久根橋	左岸	コサギ・アオサギ	一本橋～上堰橋	右岸	アユ・カワウ
久根橋～八幡橋	右岸	スジエビ キンクロハジロ	藤兵衛橋～旭橋	左岸	オオバン・ホシハジロ

（注）①マークは観光インフォメーションの位置表示です。

久原小学校 4年生 学習支援

— 呑川ウォーキング・「呑川講座」講義 —

古海 信雄 記

例年実施している久原小学校4年生の、『呑川ウォーキング』を5月23日（水）に行いました。当日は曇りで多少心配しながら出発しましたが、帰りの久が原駅からは多少雨に降られました。

児童は4年生 4組 135名の大人数を、10班（一班13～15名）に分けました。呑川の会からは17名が参加し、1班 高橋光夫・先生2人、2班 菱沼公平・高橋恵子、3班 工藤英明・内田悦子、4班 内村博明・寄立美江子、5班 安岡達郎・中野忠雄、6班 福井 甫・先生、7班 橋本文興・北澤康生、8班 南 弘元・内田邦夫、9班 白石琇朗・村尾充洋、10班 古海信雄・先生、そして主事さん、スクールサポーターの方、多くの保護者の方が交通安全のため付き添って頂きました。

久原小学校は、事前に今回の呑川ウォーキングのテーマを次のようにしていました。

- ① 呑川の様子を観察し、気づいたことや疑問に思ったことを記録しよう。
- ② 呑川の会の方の話を聞いて、川をよごす原因や川をきれいにするための取り組みについて知ろう。
- ③ 交通ルールやマナーを守って、礼儀正しく見学しよう。

『呑川ウォーキング』スケジュールは、学校発 8:30、長栄橋（北の橋） 8:50 頃、池上会館 9:30～10:00 の間でトイレ休憩後出発、太平橋 11:00 迄に通過、蒲田駅 11:15 迄に到着厳守、蒲田駅出発 11:35、久が原駅 11:42 到着、学校着 12:00 という 3 時間半の行程でした。

出発にあたり、生徒には「自ら観察すること（『気付きの学習』）が大切。おじさんは何も説明しないよ！疑問があったら間違っても良いから何でも質問すること。」と半分脅かし、そして「学校の門に掲示されている『久原小学校 海拔 16.8m』を憶えておくように」と話しをして出発。長栄橋に着くとまず生徒に聞く。「川の水はどちらからどちらに流れている？」、「次に上流はどっち？下流はどっち」「右岸・左岸って知ってる？ 大人になっても必要となるから憶えておきなさい」。

久原小学校の生徒は例年そうだがいろいろ発見し、よく質問してくる。川がまっすぐになっている。（昔の写真を見せ、違いを知る）川の流れが速い所、遅い所がある。川幅も途中で変わり、狭い所は流れが速い。久が原と池上辺りでは川の匂いが違う（汽水域）。コンクリート壁の穴は？ 橋の側に青色と緑色の管は（水道管とガス管）？ 久が原あたりの川と蒲田付近の川のゴミの量の違い。岸壁のコンクリートに書いてある数字は？等 よく観せる。池上小学校の海拔 5.9m、池上第二小学校 3.7m、日本工学院 2.9mも観察。 それと何ととっても生き物をよく見つける。コサギ発見。セキレイもいる。亀がいた。カルガモ発見。ハトがコンクリート壁の穴に入っていく。呑川のフェンスには蜘蛛の巣が多い（ユスリカが多い）。お目当てのカワセミは残念ながら発見できず。それと蒲田駅付近の ゴミをせき止めるオイルフェンス、ジェットストリーマーなどには興味をもつ。また「呑川の水の成分は？」 「ゴミはどんなものが多いですか？ どのくらいの量ですか？」等、どう答えたらよいか困る質問があり、6月6日の講座授業の時に説明しますと約束する。

久原小学校で例年 感心するのは、呑川の観察の仕方は勿論のことだが、「交通ルールやマナーを守って、礼儀正しく見学しよう」を守っていたからです。今年是一部 元気な子もいたので 90 点くらいかな・・・！ 久が原駅から歩き予定通り帰校し、私達も多少疲れましたが、生徒と一緒に『給食』をごちそうになり、多くの子供たちと話しができ、大変楽しい1日を過ごせました。先生、学校関係の皆様 誠に有難うございました。

*** 呑川を実際 探索した後、6月6日（水）**
次のスケジュールで「呑川講座」を学校で実施しました。

- ・ 10 : 40 ～ 11 : 05 (25 分) 第一講義
「呑川の概要と歴史」 講師 白石
- ・ 11 : 05 ～ 11 : 30 (25 分) 第二講義
「呑川の生き物と水質」 講師 高橋
- ・ 11 : 40 ～ 12 : 15 (35 分) 4 グループに分かれ 質疑応答



各グループ担当：○生き物・・・高橋・橋本・内村　○水質・・・菊池・安岡
○ゴミ問題・・・古海・南・中野　○歴史・・・白石・福井・高橋恵子

最初 25分ずつ 白石さん、高橋さんから パワーポイントを使い、呑川について話しました。やはり写真等の説明は子供達にわかりやすく、真剣に聞いてくれます。来年はこの時間をもう少しとって頂くよう学校に話しをしたいと思いました。また各班 いろいろ質問が出て、回答出来なかったものは まとめてメールくださるよう先生にお願いしました。皆様 本当にお疲れさまでした。

雪谷小学校 3年生・呑川探検の学習支援

古海 信雄 記

雪谷小学校 ⇄ 中原街道・柳橋

5月29日(火)今年も雪谷小学校からの依頼による『呑川探検の学習支援』を行いました。3年生3組125名を10班に分け、呑川の会からは21名が参加し、各々の班に分かれ説明しました。

(1班 高橋光夫・内村博明、2班 菱沼公平・北澤康生・先生、3班 小熊健司・塚本文子、4班 寄立美江子・青木陽二、5班 安岡達郎・中野忠雄、6班 福井 甫・内田悦子・先生、7班 橋本文興・高橋恵子、8班 菊池 均・南 弘元、9班 白石琇朗・村尾充洋、10班 古海信雄・内田邦夫・先生)。そして先生以外に交通安全に注意を払うため、主事の方、保護者の方に付き添って頂きました。

都竹先生と事前打ち合わせを行い、呑川の会の説明を一時的に聞くだけではなく、自分達の手で『呑川』を観察し、いろいろなことを自ら発見するという、『気づきの学習』を経験してほしいという主旨で探検するようにしました。

10:40 学校を出発しました。天気は曇りがちでしたが少し蒸し暑く、すぐ桜並木の下に来たらある子が「涼しい」と言いました。これこそ『気づき』です。木が多いと人にとってとても気持ちがいいと感じるのです。(雪谷小学校の桜はとても綺麗で、地域の方も自慢できるものです。)

その後も子供達はいろいろ発見し、競うように手をあげ発表し、質問したりします。「いつも呑川を見ていたが、色々なものを発見した」と得意げに言ってきます。これが大事なことだと思います。

「呑川は昔からこういう川だったのですか？ この川はコンクリートで出来ていて、深く、まっすぐになっていたのですか？」この質問には「君はとても良いことに気が付いた。この川は自然な川でなく、人間が造り直した川です。普通、川は蛇行していますね。」と回答。そして昔の呑川の写真(水の深さは約30cm、護岸は土)を見せ、自然の川であることを説明。また「この川は大雨が降ると洪水(子供達は洪水という言葉は知っていても実際どういうものかわからないので写真を見せた)が多くあったから、川を造り変え、まっすぐにして、深く掘り、コンクリートの護岸にして洪水が起こりにくくしたのです。」と回答。ある生徒がフェンスの金網にクモの巣が多くあることを発見。ユスリカが多くいるのでクモも餌をとる為ここに巣を作るのだね！ だけど子供達は「ユスリカは本当にいやだ。いなくなるとういよね！」しかし「この虫がいるから鳥やトンボがくるのでは！」という「なるほど少し我慢しようかな！」その他、生き物(鳥・亀等)、護岸の丸い穴や四角い穴、フェデラ、中原幹線等いろいろ発見。探検していると丁度ユスリカ対策の『河床清掃車＝河床に発生した藻を削る機械』が見えました。最後学校に戻る途中 山下橋のところで川沿いを離れ、右に折れ、「昔、この道を通って、学校の運動場に流れていたのだよ！ 川はまっすぐでなく、曲がっていたのだよ。」と説明。子供達は、またまたびっくり。12:00 学校に帰ってきて、私達も生徒と

一緒に『給食』をごちそうになりました。子供達に感想を聞くと「呑川でいろんなことを知りました」と話してくれました。給食のおいしさと共に子供達が「とっても楽しかった」と言ってくれたことに私達も大満足でした。ありがとうございました。

第4回 呑川 鯉のぼり大会

池上・霊山橋～妙見橋間

白石 琇朗 記

5月3～6日の4連休、池上本門寺参道の霊山橋～妙見橋間に鯉のぼりを飾りました。霊山橋側は池上小学校、妙見橋側は池上第二小学校の新旧2年生の手作り鯉のぼりを、それぞれ50匹ずつ飾り、特に池二小は90周年記念の思いを表現していました。中央に池上青少対の鯉のぼり・吹き流しを飾り、約150匹が呑川を華やかに泳ぎました。

昨年迄は「子供の日」だけの行事でしたので、朝晩散歩の人の目に留まりませんでした。今年はJCOMのTV中継も初日夕方であり、天候にも恵まれて大勢の人々の目に留まり楽しんでいただけたようです。天気は良かったのですが前半は風が強かったので、毎日のメンテナンスが大変でした。また5月1・2日の午後、池上特別出張所の会議室をお借りしての準備に毎回20人位の会員が参加して、3日朝8時から呑川に鯉のぼりを飾り付け、6日17時頃片づけることができました。



飾ると手作りの鯉のぼりがとても可愛らしく、作った子供が「アレ僕が作った鯉のぼりだよ」と自慢して一緒に写真を撮られているのが、微笑ましかったです。特に呑川が満ち潮の時は川幅が広がり、川面を青空バックに泳ぐ鯉のぼりで、更に呑川が華やかに映りました。来年は小学生の鯉のぼりを更に50匹増やし、5月の連休中より賑やかに呑川に鯉のぼりを飾ります。これを定着させて、春の池上のイベントとして、呑川と鯉のぼりが広く認知されてくると素晴らしいと思います。また、新たに家庭の「鯉のぼり」の寄贈も受けて、より充実させたいです。

(都市河川 ウォーク)

谷沢川(やざわがわ)ウォーク(2018/3/31)

— 等々力から源流に向かって —

内村 博明 記

谷沢川は世田谷区桜丘三丁目付近を源流とし、等々力溪谷を形成して多摩川に流入する一級河川です。古くは呑川に合流する九品仏川の源流ではないかと考えられています。等々力の南側の国分寺崖線の湧水で削られた谷が、徐々に九品仏川に接近しその流れを奪ってしまった(河川争奪)という見方がある一方で、人工的に掘削したのではとの説もあります。世田谷区立郷土資料館は、前者の説を採用しています。

【等々力溪谷に流入する逆川】↓

(1) 等々力駅から田中橋を歩く

駅を降りて南へ環状八号線に向かって歩けば、すぐに等々力溪谷入口のゴルフ橋です。ここからは流れを奪われて西へと流れを変えた逆川(さかさがわ)の流入口が見えます。

等々力通り沿いの林の中の流れは間もなく北に変わり、開けた民家の間を通ると、姫の橋に出ます。この橋の上流に「姫の滝」がありましたが、昭和13年の水害で崩落し



ました。この滝には夫婦に

なれず悲しんだお姫様の伝説が残っています。この先からは、両岸がコンクリートの真っ直ぐな都会の中の流れとなります。側道には、ハナミズキや桜が植えられています。東側には用賀中町通りが通っていて側道を利用する車が少ないので安心して歩くことができます。やがて玉川通り(国道246号線)を渡り、首都高速の下を歩いて行きます。田中橋の手前には、仙川の浄水施設から約2km導水している説明板があります。水量が少ないのは仕方のないことでしょう。

←【駒沢通りの1本上流「やぎわ橋」から上流を見る】



(2) 田中橋から源流へ

田中橋はかつての大山道が谷沢川を渡った橋で、二子の渡しに下って行きました。ここからは暗渠となって、人工的な流れの横の「いらか道」と名付けられた道を進みます。用賀中学校の裏に回り込み、北に暗渠が続いてやがて環状八号線にぶつかります。砧公園に寄って昼食をとったあと環八に戻り、少し歩くとファミリーレストランの横から再び暗渠が続きます。進み駐車場横の湧水跡の標識がある場所に寄りますが、とても水が湧いていたとは想像できません。やがて関東労災病院の脇の世田谷通りを渡ると、この通りに並行して川の跡が開渠となって続いています。合流するいくつかの細い流れを見て、本流を歩きます。民家の間を抜けると、小田急線千歳船橋駅からの千歳通りの後ろの東京農大のビルが見えて源流地点に到着です。ここは品川用水が通っていた場所であり、少しは水が漏れていたのかもしれませんが。距離で考えると呑川の源流だったとも言えるでしょう。天気にも恵まれて31名の楽しいウォークでした。



←【千歳通り(旧品川用水)近くの源流地点】
【桜咲く砦公園にて昼食後】↓

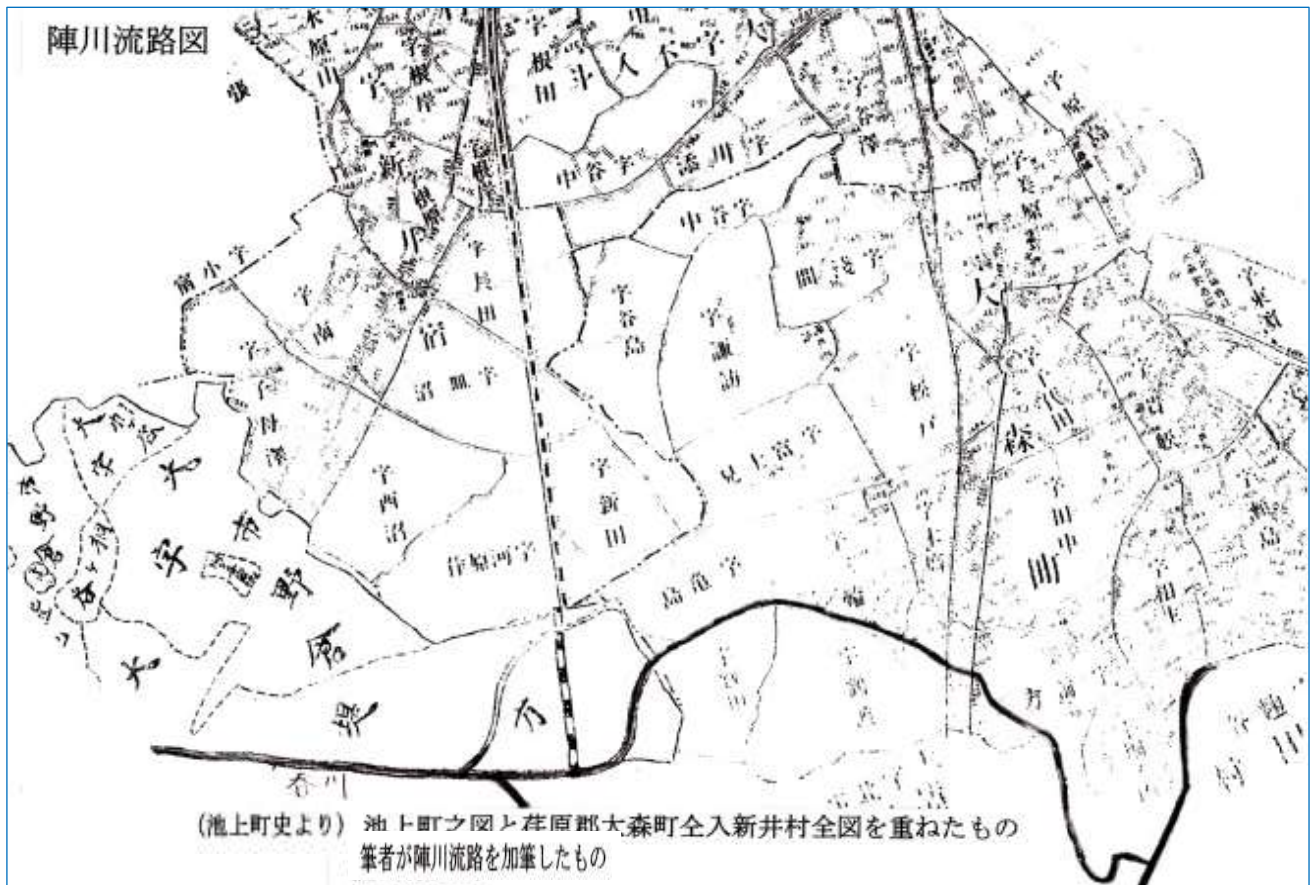


「六郷用水の会」伊藤 一也氏の講演

陣川について ～陣川は昔呑川の本流であった～

菱沼 公平 記

昔地方を支配していた有力者（豪族など）が自らの領地の界を、河川や道路など分かりやすい所
にしていたと思われる。大森区と蒲田区の区界を見ると不自然に感じるところがある。それは池上



地区の終わりから区界が道路から呑川に変わり、そして双流橋下流で呑川本流を外れ、内川・陣川方面の流れの方に入り、陣川を経て「不帰橋」の少し上流で呑川に合流し、その先、呑川橋上流の「かんまがり」と呼ばれる辺りで、また流れを南東方向に変え、新呑川の藤兵衛橋付近で今の呑川の流れと同じ方向に流れ東京湾に注いでいた。この最下流の問題は先述の「新編武蔵風土記稿」に書かれている元禄の大地震による流れが変化しても村境は変わらなかった。「新編武蔵風土記稿」の中で、この地震前に検地が行われ、村境が確定していたものと思われる。

問題は双流橋から不帰橋までの流れである。そこで伊藤氏は、「大井家文書」「蒲田町史」「池上町史」「新編武蔵風土記稿」及びこれらの付帯文書を繰り返し読み、古地図を参考にして考察した結果、中土手北側の流れが陣川で、陣川こそ昔の呑川の本流という結論に至った。もちろん現在の呑川の流れも細い流れとして存在していたことも事実と思われる。

陣川流域には、十二天西遺跡、十二天東遺跡、前方貝塚、大森堀之内遺跡が残されている。

呑川には女塚貝塚、あやめ橋付近遺跡があり、流れは古くからあったことは確実である。

伊藤氏は陣川から呑川に本流が変わった原因として、①天正18年(1590)2月16日安房(現在の千葉県南部)の地震、②天正18年の多摩川の大洪水、この2事件を想定している。この結果、慶長年間(1596~1615)初期に、蒲田村は呑川を境にして北蒲田村と蒲田新宿村に分村した。その後江戸時代に入り六郷用水が開削されると、これらも大いに関係があると考察されるとも述べている。

この総会後の講演は、呑川の会にとって非常に参考になる話でありました。伊藤氏の話に感謝。



★ 新入会員紹介
—塚本 文子—

<2017年2月入会された塚本文子さんの自己紹介記です>

呑川の会には、昨年の久が原図書館での呑川講座をきっかけに入会しました。自分の住んでいる街をいかに知らずに過ごしてきたかと痛感していた時でした。呑川の会の様々な幅広い活動を知り、ますます魅力を感じています。自然を愛し、大田区を愛し、人を大切に思う呑川の会。学ぶことがいっぱいです。今後ともよろしく願いいたします。



「 呑川の会 」 当面の活動日程

「大田区との意見交換会」

6月29日（金）10：00

蒲田地域庁舎5階・大会議室

本年度初回の「行政」との意見交換の場となります。（呑川ネット）

「呑川の会・7月定例会」

7月12日（木）13：30～16：30

「ふれあいはずぬま」第1集会室

「呑川の会・7月世話人会」

7月12日（木）10：00～

「ふれあいはずぬま」第1集会室

「おなづか小学校

呑川ウォーク」

6月25日（月）8：20 学校集合

（雨天時は27日（水）に順延）

* 大勢のサポート人員が必要ですので、ぜひご協力ください。

「呑川の会・8月定例会」

8月18日（土）13：30～16：30

「蒲田小学校」会議室

* 「定例会」の偶数月は「第3土曜」（蒲田小学校）に変わりましたのでご注意ください！

「呑川の会・9月定例会」

9月13日（木）13：30～16：30

「ふれあいはずぬま」第2集会室

「呑川の会・9月世話人会」

9月13日（木）10：00～

「ふれあいはずぬま」第2集会室。

「池上図書館・

5回連続呑川講座」

10月27日（土）～毎週土曜14：00～

5回連続講座を開催します。11月3日

午前には呑川ウォークも行います。

ぜひご参加ください。

（編集後記）……………

今年も6月7日朝、仲池上・久が原二丁目の根方橋付近で、尾池会員からカルガモひな8羽

の親子を発見の報がありました。16時頃小生も撮影に行きましたら、道々橋上流付近の路肩で休んだり、親と一緒に藻を食べながら泳いだり、可愛らしくしていました。まだ飛べないので、6月11～12日の雨で流されてしまったようで残念です。（白石 瑠朗 記）……………

